会議

令和８年度 AJEEP CNプロジェクトフォローアップミーティング（マレーシア）を実施しました

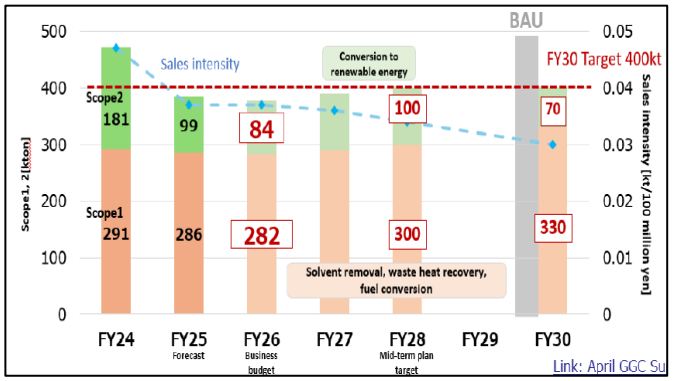
【事業概要】 一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）は、資源エネルギー庁の委託を受けてASEAN多国間省エネ人材育成協力（AJEEP）の事業を実施しております。2024年度にマレーシアの高機能材料メーカー（NMM）においてスタートしたCNプロジェクトのフォローアップミーティングを8月13日にオンラインで実施し、中長期計画の進捗状況および課題について討議しました。





Installation heat exchanger

熱交換器導入



中長期計画の見直し

AJEEP活動の一環として、2024年度にNMMにおいてスタートしたCNプロジェクトのフォローアップミーティングを8月13日にオンラインで実施し、中長期計画の進捗状況および課題について討議しました。NMMでCN診断を実施した担当者からCNプロジェクトの進捗状況および現在の課題が説明されました。フォローアップミーティングは半年に一回の頻度で開催しており、今回はプロジェクトがスタートしてから3回目に当たります。

(1) 2050年度のCNに向けた最終目標はNet Zeroと変わりません。
(2) ECCJ提案の10項目のうち、５項目について改善施策を実施しました。
(3) 排熱回収の目的で、熱交換器を導入しました。
(4) 2026年度は、スポットクーラー・LED照明の更新を推進中です。
(5) LEDの高さ低減効果についての質問に対して、エクセルファイルを利用して効果の計算が可能なことを説明しました。
(6) NMM自身で中長期計画の見直しを実施しました。
(7) ASEANエネルギーセンター (ACE)、マレーシアエネルギー委員会(EC)、ECCJは必要に応じてフォローアップミーティングに参加、継続支援します。
(8) 後日、ECから8/11にマレーシア政府が策定したNEEAP2.0(National Energy Efficiency Action Plan)が紹介されました。
(9) グループ全体としてRE100(Renewable Energy 100)を目指していることが説明され、マレーシアにおけるRE100に対するプロバイダーについて紹介してほしいとの要望がありECと協力して対応することとしました。

本事業における最初のCNプロジェクトですが、順調に進められていることを確認しました。今後ともNMM、EC、ACEとも良好な関係を継続し、CNプロジェクトの推進・日本企業への裨益に貢献していきます。

＊AJEEP：ASEAN－JAPAN Energy Efficiency Partnership
専門家派遣と受入研修を通じてASEAN地域の省エネ人材を育成するプログラム